モウへっと 取材します



奥州市民活動支援 コーディネーターの 鈴木まゆ子さんが、 市内の市民公益活動

■問い合わせ

祭り」では、

皆さんに郷土を知ってもら

開催される地元の「ジ

を数多く作ってい

定期上演会など、披露す

から11月まで開催される

本庁地域づくり推進課 市民活動係 (江刺総合支所・☎34-1618)



てもらうためのアプロー

チと

して講談をやってみようとい

歴史を広く知ってもらい、こ

の地域への興味や愛着を持っ

そうした中で、

衣川や平泉の

安倍氏の活躍を中心とした前 衣川や平泉地域を治めていた

何か応援できることはない

と衣川地域の有志が集 話し合いを重ねました。

「世界遺産登録のために

み上げる伝統芸能の

です

同会が演じる講談の演目は

挑戦するイメージ 使でもある女流講談師の宝井 うアイデアが生まれ とともに活動を 衣川青凜会として13人の会 凜さんを師匠に、 「凜」 をとり、 スタ 若々しく 「青」と 奥州大

奥

らいたいと、

衣川歴史ふれあ

まし

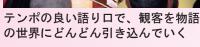
を得て、

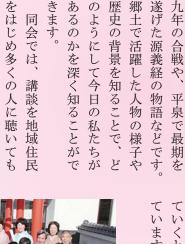
お祭りや出前講談、

い館や市観光物産協会の協力

声に抑揚を付けて、物語を読り扇でリズムよく叩きながら、教台を張さな机の前に座り、釈台を張

う、「一点20年、衣川には遺産の構成資産となるべき「長」というとしています。 で構成資産となるべき「長」という。 ではないまする。 ではないまする。 では、これでは遺 産登録へ」との機運が高まっ て活動している団体です。 「平泉の文化遺産を世界遺 の歴史にまつわる物語 一談」を通して要 地域の歴史の語り部とし 川青凛会 を伝 衣 講 前几年会戦の章





きます

同会では、



奥州衣川青凜会と輝凜会



今回、お話を伺った奥州衣川青凜会会長の 佐々木さん(中央)と会員の皆さん

「衣川に嫁にきて50 い話が聞けたよ そんな歴 かっ

これから

ています。 ます。 会」の育成にも力を入れてい 世代を超えたつながりが生ま れたこの会の指導を通して、 が活動を後押ししてい てくれる地元の人たちの笑顔 ありがとう」などと声を掛け 史があったなんて知らな 年以上になるけど、 同会は子ども講談「輝凜活動を後押ししています。 地域の歴史を講談で伝え とてもい 地元の小学生で結成さ 思いも継承され

ます。 会員。 以上経った今でも、 ちの講談で、 現在、

け、支えてくれる地元の人た部として誇れる歴史を伝え続 と語ってくれまし ちに恩返しをして 衣川の地で立ち上げた自分た 方に聴いてもらいたい。そし ますます活動に力が入ります。 の加入者も含め23人にもなり、 持ち続け、講談を楽しんでい がら講談を一から学んできた て、その魅力に触れてほしい 「個性ある講談をたくさんの 稽古を重ね、 会長の佐々木常重さんは 講談に取り組んで10 これからも語り 会員は市外から 切磋琢磨しな 向上心を きた 年

■問い合わせ = 本庁地域医療介護推進室 (☎34 - 2906) 在となりましたので、 ています。2月からノートの配布たしの生き方ノート」を作成し、 医療介護連携推進協議会では、奥州市版エンディングノ

これからの人生を ルに

はなく、 分の人生を振り返り、 を書き留めるだけでなく、 行されていますが、 てられることが特徴です。 らに生かすため おく冊子です。 身の希望や情報を書き留めて (エンディング) その名のとおり、 ンディング さまざまなもの 内容に決まり の整理に役立 に備えて自 人生の最期 単に情報 これ とは が 発 自 か

「これからのわたし」とわたしの生き方ノート できるようになって ことや会いたい人などを記入 ジを設け、やってみたいれからのわたし」という トでも、 ■奥州市版エンディングノート「わたしの生き方ノート」。 これまで約3,300部配布してきました

もちろん、 医療や介護、

望など

思いを整理し、 介護関係者とよく話をしてお迎えるためには、家族や医療 周囲の人の安心につながりま 合うきっかけになり、 を周囲に伝えることが、 うな内容の話は切り出しにく くことが大切ですが、 あります。 財産などを記載するページも もの。この なった後の対応の希望や 自身が望む最期を トで自分の

わたしの生き方ノーート これまで市担当窓口で配布し ていましたが、より身近な場 所で手にできるよう、市内30 の地区センターと8カ所の地 域包括支援センターでも配布 を始めました。自身のこれか を始めました。 らを考え、

もしもの時に備えて

ト「わ

よ

医療介護関係者の連携推進などを目的に市が設置する市在宅

・地域包括支援センタ

で配布を始めました

その内容などをお知らせします。

トの配布場所を拡充し、

より身近な存

市民の皆さんに無料で配布し

このよ 自身と の存在 話し

わたしの生き方ノート 配布場所

- ■市内各地区センター
- ■市内各地域包括支援センター



◀市内地域包括支援 センター 一覧

■市役所・各総合支所 本庁:地域医療介護推進室

健康福祉グループ 前沢:市民福祉グループ

胆沢:健康福祉グルー (健康増進プラザ悠悠館)

衣川:市民福祉グループ

▲市ホームページ

わたしの生き方ノート

①わたしのこと…氏名、

トの内容

⑥これからのわたし…これからやってみたいことなど ⑤家族の歴史…家族・親族の氏名、 ④友人・知人リスト…氏名、 ③わたしを知ってください…性格、 ⑦わたしに何か起こったとき…治療、 **②わたしの歩み**…誕生からこれまでの自分史・ わたしの生き方ノー 住所、 連絡先、 緊急連絡先、 住所、 趣味、 介護、 葬儀時の連絡の要否など 連絡先、 好きなもの 看取り、 病気やけがなど 家族史 家系図など 葬儀の など

⑨わたしの財産について…預貯金、 8わたしの ペットについて…種別、 保険、 名前、 利 世話の希望など 用中のサ Í

ど

⑫大切な人への ⑪遺言書について…遺言書の有無、 ⑩形見分け・遺品の整理について…内容、 メッセージ 保管場所など 整理方法の希望など

求める場合は、遺言書の作成が必要ですなたの思いが伝わるよう、ノートのことを家族になたの思いが伝わるよう、ノートのことを家族にない。

法的効力を

、―トのことを家族に話しておきま何度書き直しても大丈夫です。 あ

ダウンロード